

採用施設一覧（◎は基幹施設、○は連携施設）

- ◎墨東病院
- 広尾病院
- 大久保病院
- 大塚病院
- 駒込病院
- 豊島病院
- 荏原病院
- ◎多摩総合医療センター
- 多摩北部医療センター
- 東部地域病院
- 多摩南部地域病院
- 小児総合医療センター
- 松沢病院

研修プログラムの特徴

- 墨東病院（基幹施設）
都立墨東病院外科東京医師アカデミー専門研修プログラム

プログラム責任者：外科 高橋 道郎 プログラム研修期間：3 年

基幹施設は墨東病院で、都立 7 病院と連携しています。外科研修に必要な領域すべてを網羅し、東京都の色々なエリアを含んでいます。本プログラムの目的は以下の通りです。

- (1) 手術ができる外科医を育てる
- 外科専門研修の時期に一番大事なことは、とにかく手術を多くすることです。本プログラムでは、3 年間で術者を少なくとも 200 例以上経験することを目指します。外科専門医の最低必要経験症例 350 例、術者経験数 120 症例を、短期間のうちに経験できます。

○ 2026 年卒業の外科専修医：経験症例約 560 例、術者経験約 260 例／3 年間

- (2) 研究発表、論文発表も積極的に指導
- 学術活動は、手術と同様に臨床医として必要不可欠なものであり、外科専門研修の時期に学んでおくべきものです。本プログラムでは、研究発表、論文発表のスキルを経験豊富な指導医が、積極的に指導し、研修に必要な 20 単位を大きく上回る業績を達成します。

○ 2026 年卒業の外科専修医：全国学会での研究発表 4 件、英文論文発表 1 件

- (3) サブスペシャリティに繋がる研修
- 基幹病院、連携病院を含めて、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科に加え、内視鏡外科、肝胆膵外科、乳腺外科などすべての領域で最前線の医療を行っているため、外科専門医を取得の上、希望のサブスペシャリティ領域に繋がる研修をすることができます。

研修コース
モデル

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 年次	一般外科		上部消化管外科			救命／ ER 研修			乳腺外科			
	3ヶ月毎に1年次に習得すべき領域を研修します。											
2 年次	下部消化管外科		肝胆膵外科			胸部外科研修			駒込病院			
	2年次で必要経験症例数達成を目指します。											
3 年次	上部消化管外科		上部消化管外科			大塚病院			肝胆膵外科			
	専門科やサブスペシャリティにつながる研修を選択できます。											

- 多摩総合医療センター（基幹施設）
都立多摩総合医療センター施設群外科東京医師アカデミー専門研修プログラム

プログラム責任者：血管外科 保坂 晃弘 プログラム研修期間：3 年

外科専門医を取得するための研修プログラムが主体です。専門研修期間は 3 年で、基幹病院または連携施設群のいずれかに所属し研修を行います。（どちらも最低 6 か月ローテーションすることが規則になっています。）3 年間で一般外科／救急／消化器／呼吸器／乳腺・内分泌／血管／小児などの分野を原則 3 ヶ月を単位としてローテイトし、分野毎に

集中的に研修を行います。希望があれば心臓血管外科のローテーションも可能です。がん診療を重点的に研修するために、駒込病院の研修期間を長くしたり、また呼吸器外科を目指すために、呼吸器外科の研修期間を長くするなど、目的に応じて研修内容を調整することができます。手術経験数は、平均すると術者 200 例程度、助手 300 例程度です。多摩総合医療センターでは、手術動画を院内 LAN から視聴でき、手術の予習・復習が可能です。また内視鏡手術練習のための共用のドライボックスもあり、随時使用が可能です。また平成 30 年より手術支援ロボットダヴィンチが導入され、外科では胃癌、直腸癌、脾腫瘍、肝腫瘍、呼吸器外科では肺癌、縦隔腫瘍、重症筋無力症に対する胸腺摘出が施行されています。シミュレーターなどでの練習も可能で、術者ライセンスも取得することができます。消化器外科、呼吸器外科に関して、希望により研修終了後サブスペシャリティの消化器外科専門医、呼吸器外科専門医取得を目指し、4 年目以降在籍することも可能です。

研修コース モデル

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 年次	乳腺外科			ER・救命センター			血管外科			肝胆膵外科		
2 年次	下部消化管外科			下部消化管外科			上部消化管外科			連携施設		
3 年次	連携施設			呼吸器外科			上部消化管外科			肝胆膵外科		

● 広尾病院（連携施設）

指導医責任者：外科 村瀬 秀明

当科では、後期研修医が身につけるべき急性虫垂炎や兎径ヘルニア、胆石症・急性胆嚢炎などの症例が豊富です。基本的にこれらの疾患は、すべて後期研修医が執刀医として手術を担当することになります。また、食道癌・胃癌・大腸癌・肝胆膵悪性疾患についても、各領域の専門医が担当していますので、すべての臓器をローテーションし、様々な手術手技を学ぶことが可能です。3 年のプログラムの中で、各臓器チームを 2-3 回ローテイトすることになりますので、step by step で指導を受け、スムーズな skill up が可能なプログラムとなっています。当院には ER が併設されており、外科でも 1 次から 3 次救急まで対応しています。急性腹症、自然気胸、外傷などを中心に様々な救急疾患を受け入れていますので、緊急手術ならびにその周術期管理も習得できます。担当した救急患者については、主治医として緊急手術から術後管理まで担当することで、多くのことを学べます。また、3 か月程度 ER に出向し、集中的に救急治療を学んでもらうことが可能です。外科専門医取得に必要となる心臓・大血管や呼吸器外科手術も症例豊富ですので、当院での研修だけで必要な症例数を経験することが可能となっているのも特徴です。当科では、手術手技や周術期管理のみならず、診断にも力を入れていますので、後期研修医には内視鏡検査も指導しています。以上のように 3 年間の研修で、診断・手術・周術期管理につき総合的に大きく skill up できる研修プログラムを組んでいます。また、専門医取得も最短期間で可能です。

研修コース モデル

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 年次	上部消化管			下部消化管			肝胆膵			呼吸器・乳腺		
2 年次	墨東病院						上部消化管			下部消化管		
3 年次	ER			肝胆膵			呼吸器・乳腺			上部消化管		

● 大塚病院（連携施設）

指導医責任者：外科 大島 令子 プログラム研修期間：3 年

大塚病院外科では、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、小児外科という 4 つの分野で、良性疾患から悪性疾患の手術までを研修していただけます。

胸腔鏡・腹腔鏡手術の普及に伴い、大塚病院外科では、多くの手術が鏡視下手術で行われております。呼吸器外科手術は、ほぼ全例で胸腔鏡下手術を行っております。消化器外科では、虫垂炎、鼠径ヘルニア、胆石症といった良性疾患から、胃癌、大腸癌といった悪性疾患まで、ほとんど全ての症例で腹腔鏡下手術を行っております。後期研修医の方にも、術前に十分な指導・シミュレーションを行い、初めて経験する手術からでも腹腔鏡・胸腔鏡手術を執刀していただきます。習熟度に応じて、腹腔鏡下虫垂切除術など低難易度手術から、腹腔鏡下胃切除術・大腸切除術など難易度の高い手術へ進みます。術後はビデオカンファレンスで指導医から次回に改善する点を共有します。乳腺外科では、マンモグラフィの読影、エコー・生検の手技、そして手術、さらには抗がん剤治療までの全てを外科だけで学ぶことができます。小児医療にも重点を置いており、新生児から小児まで多くの手術を経験できます。このように一人ひとりの後期研修医に幅広い分野で手厚い指導ができるのが、大塚病院外科の最大の特徴です。基幹施設での修練では、当院で十分な経験が難しい心臓血管外科・外傷外科などを経験することが可能です。当院のプログラム修了後は、東京科学大学、日本大学、東京医科大学、埼玉医科大学など東京近辺の大学の外科医局への入局の推薦も可能です。

研修コース
モデル

1 年次

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
消化器外科			小児外科			呼吸器外科			乳腺外科		

4 つの分野を適宜ローテイトしチームの一員となり、各分野の周術期管理と手術全体の流れを習得。低難易度手術は全例後期研修医が執刀。

2 年次

墨東病院						消化器外科			小児外科		
------	--	--	--	--	--	-------	--	--	------	--	--

基幹施設の 6 か月間で、当院で経験不可の心臓血管外科などを経験。2 年目のローテイトでは中難易度手術の執刀まで進み、専門分野の選択に入る。

3 年次

呼吸器外科			乳腺外科			自由選択			自由選択		
-------	--	--	------	--	--	------	--	--	------	--	--

3 年次の後半では自身で決めた専門分野を自由選択し、より難易度の高い手術へ進みます。

● 駒込病院（連携施設）

指導医責任者：外科 脊山 泰治

駒込病院は山の手の静かなエリアである文京区に位置します。良い環境で落ち着いて外科医としての基本を身につけませんか？

・外科専門医を取得できます（積極的に術者経験を！）

様々な症例の経験をしながら術者件数を確保するために、1～2 年次に術者経験ができる診療科を中心に選択してローテイトできます。また小児外科、血管外科はなるべく 2 年次までに症例経験できるように調整します。3 年次は消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科など次のサブスペシャリティに連動できるように自由選択となっていますので、次に繋がる研修をデザインできます。卒業生は症例経験 350 例、術者経験 120 例の外科専門医の必修条件を十分クリアしています。

・がん専門病院における研修のメリット

食道外科、胃外科、大腸外科、肝胆膵外科、呼吸器外科、乳腺外科の 6 領域が専門領域の治療に専念しており、ロボット支援手術、内視鏡外科手術など各領域の最先端手技を学べます。遺伝子診断、免疫チェックポイント治療薬も積極的に導入しており、最先端医療を学べます。

・ロボット外科医教育

近年、急速に普及したロボット支援下手術ですが、当院には既に da Vinci Xi が 2 台入っており 3 台目として SP（シングルポート）も導入されました。外科専門研修でもシミュレーター訓練、実機訓練などを行い certificate 取得のサポートをして、ロボット時代の外科医育成に力を入れています。

・学術活動指導体制

学会発表、症例報告、論文執筆など経験豊富な指導医が多く在籍しており、学術活動の機会は多くあります。研修中に英文報告の執筆指導も行います。

研修コースモデル

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 年次	大腸外科			乳腺外科			救急（基幹病院）			肝胆膵外科		
	1 年次に救急部門をローテイトします。											
2 年次	呼吸器外科			一般外科（基幹病院）			小児外科	胃外科		一般外科（連携病院）		
	2 年次までに外科専門医に必要な症例経験の目途をつけます。											
3 年次	自由選択枠（例：大腸外科3か月、食道外科3か月、肝胆膵外科3か月、病理 2 か月、内視鏡1か月）											
	自由選択枠は、消化器外科・呼吸器外科・乳腺外科のサブスペシャリティーに連動した研修デザインが可能です。											

● 豊島病院（連携施設）

指導医責任者：外科 飯田 聡

豊島病院外科は東京医師アカデミーの外科基幹病院・墨東病院外科プログラム及び多摩総合医療センター外科プログラムの連携施設となっています。各プログラムにおいて豊島病院所属を選択することで、豊島病院を中心とした研修を行うことも可能です（基幹施設において6か月以上研修する必要があります）。

豊島病院には消化管（食道、胃、大腸）、肝胆膵、乳腺外科の各専門医が在職しており、専門的な診療を行っています。呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科医はおりません。

外科手術件数は年間約 800 ～ 900 例で、初期研修医、外科専攻医の皆さんも能力に応じて多数例の手術の執刀や処置を経験することができます。手術以外にも内視鏡検査や PEG、EMR、ESD、EST などの内視鏡的治療、PTCD、CT 下ドレナージや神経ブロック等の IVR、DMAT チームを中心に医療救護班活動や大規模災害訓練などの災害医療にも外科医が積極的に取り組んでいます。当院では“断らない救急”をモットーに、二次救急指定病院として救急医療にも積極的に取り組んでいます。若い医師には忙しくはありますが、多数例の手術症例を経験することができ大変勉強になると思います。

研修コースモデル

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1 年次	豊島										【必修】ER 研修		
	4 月 -12 月では自院での一般消化器外科・乳腺外科の一般的な基礎研修を行う。自院では初診＋再診外来を週に 1 回担当。3 か月救命センター・ER の研修を行う。												
2 年次	基幹施設研修							豊島					
	基幹病院にて 6 か月の研修を行い、当院では症例が不足する疾患を経験する。												
3 年次	豊島												
	サブスペシャリティに関連した専門性のより高い研修を行う。												

● 荏原病院（連携施設）

指導医責任者：外科 吉利 賢治

外科研修プログラムは、都立墨東病院を基幹とし、当院は連携施設としてプログラムに参加します。しかし連携施設の採用でも、当院で研修できない領域を基幹施設での研修で補う形で、専門医の取得が可能となります（基幹病院での研修は最低6か月は必要です）。当院の外科には、消化器・一般外科、乳腺外科があります。消化器・一般外科は年間手術数約 350 例、地域医療の中核病院として急性虫垂炎、痔核、鼠経ヘルニア他、胆石症などの外科研修の初期に経験すべき低難度手術症例から、消化管穿孔、急性胆のう炎、絞扼性イレウスなどの緊急手術や胃癌、大腸癌といった消化管悪性腫瘍の手術も術者としての経験が可能です。これらは腹腔鏡下手術が主となっております。また肝胆膵領域の悪性腫瘍などの高難度手術に対しては、開腹手術にて積極的に取り組んでいます。

乳腺外科は年間約 50 例、乳腺腫瘍を中心に手術を行っています。当院はあまり専門に特化した病院ではなく、多く

の症例を扱う市中病院であり、そのため若手医師が外科研修を始める病院としては最適の施設ではないかと自負しております。当院では現状はロボット支援下手術は導入しておらず、そのため若手外科医が多くの手術を経験することができます。大人数の外科ではないですがスタッフは皆、各分野の指導医、専門医資格を有し、外科の基礎からマンツーマンで指導する体制をとっています。

研修コース モデル		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	1 年次	消化器・一般外科											
	2 年次	乳腺外科				呼吸器外科				墨東病院			
	3 年次	消化器・一般外科				呼吸器外科				消化器・一般外科			

虫垂炎、ヘルニア、痔核、胆石などの低難度手術を対象に術者として多数の症例を執刀し、外科の手術技の基礎を学ぶ。症例報告などの学会発表も経験する。

外科専門医取得に必要な様々な分野の症例を経験する。当院では経験できない疾患は基幹病院ローテイトで経験してもらう。

外科専門医取得に必要な症例数を確保していることを再確認する。外科専門医に続くサブスペシャリティの希望にも配慮してローテイトさせる。

● 東部地域病院（連携施設）

指導医責任者：外科 北島 政幸

一般外科診療に対する総合的な知識と技量を習得した医師を育成し、地域医療に貢献することを目指しています。また当院では、患者様だけでなく、医療従事者にも最良の環境を提供することを目指し、直腸癌、結腸癌に対するロボット支援下外科手術を導入しています。様々な手術に積極的に参加、体験してもらい将来の医療の最前線で活躍するための準備ができるように努めています。

研修コース モデル		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	1 年次	消化器外科・一般外科・小児外科											
	2 年次	ER/ 救命救急研修（連携施設）			呼吸器外科（連携施設）			消化器、一般外科、小児外科			心臓血管外科（連携施設）		
	3 年次	消化器外科・一般外科											



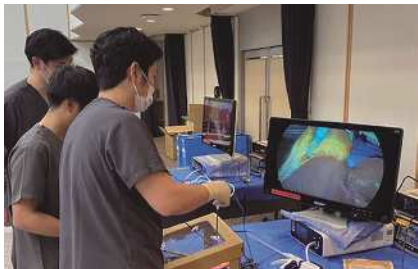
（駒込病院外科 ロボット実習）



（駒込病院外科 ロボットシミュレーター訓練）



（駒込病院外科 消化管吻合実習）



（駒込病院 腹腔鏡下胆嚢摘出術のハンズオン実習）



（豊島病院 外科手術の様子）